

関西支部 LMAG ニュース

—第6号—

2015年12月発行

IEEE 関西支部 LMAG

Secretary 小林 正明 (文責)

目次

- ・ LMAG (Life Members Affinity Group) とは
- ・ 1 関西支部 LMAG 2015年活動状況
- ・ 2 IEEE 関西支部のトピックス
- ・ 3 関西支部 LMAG 小林 Secretary からのメッセージ

編集後記



関西支部 LMAG Banner

LMAG (Life Members Affinity Group) とは

経験豊かなライフ会員の更なる能力向上、社会貢献、相互交流などを通じた会員の意見吸収・便益向上、IEEE 活動への寄与、などを目的に支部内におかれるローカルなユニットです。

IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group (関西支部 LMAG) は、本部への申請によって、2012/6/18 付けにて東京支部について日本国内で二番目に設立されました。関西支部 LMAG はライフ会員のステータスを持つ関西支部会員全員で構成され、支部内の他の委員会と同様の位置づけで活動しています。

2015 年の関西支部 LMAG メンバーは 155 名となっています。

1 関西支部 LMAG 2015 年活動状況

2015 年は年間活動 3 年目として少し新しくした役員体制新体制のもとで活動をより活発化させています。2 月に年次総会を開催しましたが、その後は、2014 年同様に、関西支部 TPC、WIE などと連携して 2 回の講演会 (現地技術講演会も含む) を開催しています。同時に YP や SB との交流を模索しています。

また、「Kansai-Section LMAG Newsletter」を発行しホームページに掲載するとともに、電子メールにて発行を案内しています。

6月3日には、今年最初の企画として、新たにマイルストーンに認定された京都大学生存圏研究所 信楽観測所 MUレーダーの見学会を開催しました。8bit マイコン時代に設計製造された送受信制御装置群が、継続して維持管理更新されて観測が続けられていることに、一同大いに感心しました。

見学会の直前には、人口よりも狸が多い信楽地域のミニ散策も行いました。



9/24(木)には理化学研究所放射光総合科学研究センターにおいて SPring 8、SACLA での現地技術講演会&見学会を開催しました。

創薬や高分子の分析や探査機はやぶさが持ち帰ったちりの分析など Spring 8 施設によりあげられた成果の数々や、新たに加わった世界一小さいものが見える X線レーザー施設 SACLA により期待される成果につき見識を深めました。

	
<p>SPring 8</p>	<p>SACLA</p>
	
<p>ロビーにての集合写真</p>	

今後の企画として、12月15日(火)には京大花山天文台での現地技術講演会を計画しています。あわせて忘年会も開催します。ご予約に入れておいていただき、積極的なご参加のほど、よろしくお願いいたします。

2 IEEE 関西支部のトピックス

関西支部ゆかりのマイルストーンは、従来の6件に加え、京都大学と三菱電機(株)により開発された「MUレーダー」が新たに認定されて、計7件となりました。IEEE本部からのマイルストーン贈呈式が5月に開催され、6月にはこれに関連して前記の見学会を開催しました。さらに現在、関西電力蹴上発電所のマイルストーン申請がなされて審議されている段階です。

関西支部ホームページにも、現況をはじめ多くの情報が掲載されています。
[\(http://www.ieee-jp.org/section/kansai/\)](http://www.ieee-jp.org/section/kansai/) ”IEEE 関西支部 “で検索していただいてもすぐに見つかりますので一度ご覧下さい。

3 小林 Secretary からのメッセージ

IEEE Kansai Section の LMAG Secretary の小林です。私は大学院生の時に Student Member として IEEE に加入し、以来、就職して電機会社のエンジニアとなってからも、そして会社を完全退職してからも、Member として加入し続け、とうとう Life Member (LM) に至りました。この間、仕事に関連したテーマを扱った論文は、日本の学会誌には全くなく、IEEE でそうした論文を見つけては、何度も繰返して読み、おかげで、IEEE のメンバーであることが随分、技術情報の収集・動向把握に役立ちました。退職後も何らかの社会的活動を続けたいと考え、LM になった丁度その頃、発足したばかりだった LMAG の活動に参加してみました。現地見学付きの技術講演会はとても興味深く、また、自分の知識欲を満たしてくれることもあって、毎回参加しているうちに、今年から Secretary を仰せつかりました。役員、事務局の方々と連携・協力しつつ LMAG の運営に当たっています。

LMAG のミッションの一つに、LMAG はもとより、IEEE の諸活動を盛り上げることがあると思います。LMAG の活動に参加すると、単に知識欲が満たされるだけでなく、“脳力”の維持向上にもつながります。また、初対面のメンバーとでも、まるで同窓会的な雰囲気メンバー間の交流ができます。これも、きっと EEE (Electrical and Electronics Engineers) という広い意味での同じ釜の飯を食った旧来の仕事仲間であるからでしょう。LMAG の活動は、LM をはじめ、IEEE メンバーの皆さまの参加で成り立っています。興味をもって参加して頂け、また活動を盛り上げてもらえるような現地技術講演会等のイベントを、プリやアフタのイベントである現地訪問先周辺の散策、有志懇親会等も含めて、引き続き企画し、実施していきたいと思っています。

LMAG の活動としては、現地技術講演会に加えて WIE (Women in Engineering)、YP (Young Professional) の各 Affinity Group や SB (Student Branch) との連携があります。WIE/YP/SB とどういった連携ができるのか、それを探る意味で、それらの各活動に参加してみました。そこで思ったことは、連携先の諸活動に LMAG メンバーが参加してその活動を盛り上げることが連携の第一歩となるのではないかということでした。

LMAG 活動への多数の皆さまのご参加をお待ちしています。また WIE、YP、SB の各活動にも LMAG メンバーの皆さんの積極的なご参加を願う次第です。

会員リニューアル手続き

2016年の会員サービス及び刊行物の継続利用の手続きをお願いいたします。この手続きは、www.ieee.org/renew にアクセスして行うか、本部より郵送された LM 更新手続きの用紙で行うことができます。また、IEEE Life Members Fund へのご寄付の検討も併せてよろしくをお願いいたします。年間 30 万 US ドル以上の Life Members Fund 慈善支援は、各教育レベルにおいて工学・科学・数学への興味を増進させる活動や、電気・情報技術の歴史を残す活動、そして IEEE ライフ会員の膨大な経験の活用などの目的に使用されています。

編集後記 関西支部 LMAG 事務局より

LMAG 事務局の平野です。2013 年、2014 年に続き今期も事務局を務めさせていただきます。引き続きよろしくお願いいたします。

今年は信楽、相生と現地見学会を実施しました。いずれも遠方で参加者数を心配しましたが、期待数以上の方々に参加いただきました。年内にあと一回講演会を開催します。さらに初の試みとして忘年会も開催します。講演会はもう要らない、懇親会だけがあればいい、という方にも参加いただけるのではと期待しております。今後の現地技術講演会の開催場所につきましては、あんなところを見たいなとか、ここでやったらどうだ？ こんなことしたらどうだ、というご提案をお待ちしております。イベントのご提案等は私の学会メールアドレス k-hirano@ieee.org までお送りいただけますと幸いです。

<p>IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group Newsletter 2015 年 12 月発行第 6 号 発行：IEEE 関西支部 Life Members Affinity Group E-Mail: lmag-kansai@ieee-jp.org (エルエムエージャーです)</p>
--